



去年と今年を貫く

年が明けて2021年、令和3年となりました。本年もどうぞよろしくお願ひします。

2学期の終業式で、私の選んだ今年の漢字「光」を紹介しました。コロナで暗い世の中ですが、日常で見られた子供たちの美しい姿は、夜空の星のように光っていました。

子供たちは新年を迎えて、新たな決意や目標を抱いたことと思います。同時に、これまで培ってきたことも大事にし、自信をもって歩んでほしいと願っています。(校長 上野 明彦)

去年今年（こぞことし） 貫く棒の 如（ごと）きもの 高浜虚子

3学期始業式 式辞

新しい年、2021年、令和3年を迎えました。

今年の干支は「丑」、「丑年」です。漢字では「丑」と書きます。十二支では2番目になります。

十二支ってわかるでしょうか。ね・うし・とら・・・というのですね。

ところで、「12」といえば何を思いつくでしょうか。時計や時間を思いつきますね。昔の日本では、時刻を表すのに何時ではなく、十二支を使っていました。子の刻とか丑の刻とかです。今の時計のように12時間ではなくて、24時間の言い方です。24時間で一周する時計だと思えばいいと思います。

さあ、今年の干支の「丑」は何時頃でしょうか。夜中の2時頃です。「丑」のころまで起きていないようにしてくださいね。

ところで、普通に使う「牛」の字と似た字の干支がありますね。これは「午」（うま）です。角が出ているのが牛、無いのが午です。「午」はお昼の12時頃ですね。「午」より前は午前、後ろは午後といいますね。ちょうど12時は、「正しく午」ということで「正午」といいます。昔の言葉が、今でも普通に使われているって、なにか素敵な感じがしますね。

ところで、牛は、「反芻」といって、食べたものを胃からまた口に戻して何回か噛み直します。そうしないと固とがった草をうまく消化できないからです。

丑年の今年、思った言葉をすぐに言うのではなく、その言葉に、人を傷つける固さやとげがないか「反芻」してから、言えるといいですね。

さあ、今日から3学期がスタートします。

「学年の総まとめ」の時期です。そして、4月から始まる「新しい学年に向かって、はばたく力を蓄える」時期でもあります。

2学期の終業式で話をした皆さんの「光」、3学期には、この光をもっともっと増やして、すばらしく輝いてほしいと願っています。さらに輝くためには大事なことが三つあります。

まず、○自分の「光」を確認して、これをさらに伸ばそうとすること。二つ目、○他の人の「光」を見つけ 認めて 素敵だと思う心をもてること。三つ目、○お家の人や先生方、友達に感謝する気持ちをもつこと。です。

皆さんの「光」でいっぱいの、南小の「3学期」にしてください。

